

平成 27 年 3 月 10 日

長野県感染対策研究会
代表世話人 本田孝行
長野県臨床検査技師会 感染対策委員会
担当者 高見沢 将

信州インфекションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS) による長野県各地区の耐性菌検出状況についての報告 ～2015 年 1 月データについての報告～

2014 年 1 月の VRSA、VRE、多剤耐性アシネトバクターの検出はありませんでした。

<MRSA の検出状況について>

長野県全体の検出率は 7.9%でした。JANIS での全国平均検出率は 7.48%で全国での状況と同様と考えられます。中信地区にて 2.5%増加しており、今後の動きに注意が必要と考えられます。南信地区では、引き続き、他の地区に比較して高い検出率が続いています。

<多剤耐性緑膿菌の検出状況について>

長野県全体の検出率は 0.1%でしたが、中信地区で 4 株検出されています。1 施設にて複数株検出が見受けられており、対応を行なっております。JANIS での全国平均検出率は 0.12%で全国での状況と同様と考えられます。

<第三世代セファロスポリン耐性大腸菌の検出状況について>

長野県全体の検出率は 1.0%でした。JANIS での全国平均検出率は 1.40%であり、長野県の検出率は比較的低い状況にあると考えられます。SICSS と JANIS 共に、CLSI の旧判定基準に基づき第三世代セファロスポリン耐性大腸菌を判定しているため、CLSI M100-S22 以降の判定基準に基づいた検査パネルをご利用されている施設では、検出率が低く集計されています。自施設での検出状況と異なる場合がありますのでご注意ください。

耐性菌検出検査や SICSS データ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者までご連絡お願いいたします。

お問い合わせ先 信州大学医学部附属病院臨床検査部 松本 竹久 TEL; 0263-37-3493, e-mail; ggatcc@shinshu-u. ac. jp
--